

指導略案(対象学年 小学校6年生～中学生)

1 ねらい

アニメ「めぐみ」の視聴や、帰国拉致被害者の新聞記事や資料を読むことを通して、拉致問題への理解を深める。

2 本時の指導

※本時までアニメ「めぐみ」の視聴を前提とする。

学習活動	指導上の留意点
1 拉致問題について学習してきたことを発表する。 ・北朝鮮のスタッフが拉致を実行した。 ・スパイ活動と関連している。 ・北朝鮮という国家が行った。 ・当時の小泉首相が訪朝して、拉致被害者5名が帰国した。	○本時までワークシートにまとめておく。
2 拉致被害者の生活や北朝鮮の人々の生活について調べる。 ・日本に比べて、食料が足りていない。 ・生活が大変な感じがする。 ・運動会があって、日本と似ている。 ・運動会で曾我さんのお子さんが、一緒にお弁当を他の家族と食べていてよかった。	○「曾我ひとみさん」に関する資料を準備する。 ○資料から、拉致被害者の普段の生活を読み取る。 ○一般の人々は拉致のことを知らず、普通に曾我さん家族と接していたことを押さえる。
3 拉致被害者の方の思いについて調べる。 ・拉致問題が解決してほしい。 ・拉致問題について勉強したことを、家で話してほしい。 ・解決に向けて、日本のみなさんに協力してほしい。	○「地村保志さん」に関する資料を準備する。 ○拉致問題が解決していないことを押さえる。 ○地村さんの願い(※)を伝える。

(※) 地村さんの願い

「拉致問題について学習したことを父母や祖父母に伝えてほしい。拉致問題に関心を持ち、応援してほしい。そのことが拉致問題の解決につながる」

～平成30年11月26日(月)

「拉致問題啓発講座(福井県小浜市立小浜小学校6年生対象)」～